

## 「手打小学校の手おどり伝承活動の取組」

### 1 学校名

薩摩川内市立手打小学校

### 2 学年・人数

手打小学校1～4年生（14人）

### 3 日時・場所

#### (1) 練習の日時・場所

令和3年9月3日（金）、13日（月）、17日（金） 手打小学校運動場  
〔令和3年9月13日（月）伝承者による指導〕 手打小学校体育館

#### (2) 発表の日時・場所

令和3年10月3日（日） 手打小秋季運動会

### 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事について

#### (1) 名称

手踊り（ておどり）

#### (2) 由来

子岳地区の手踊りの由来ははっきりしないが、江戸時代から踊っていたと思われる。  
（下甌村郷土誌より）

#### (3) 構成等

構成員数は、踊り4名、太鼓1名、拍子木1名で構成される。ハンテンまたはハッピ、鉢巻、タスキ、博多帯、手甲足絆、足袋ワラジ、刀、扇子を身に着ける。口紅とおしろいで化粧する。

踊りの構成は、①出羽「太鼓と拍子木で踊る。」②中踊「刀を使って踊る。」③入羽「一人残って太鼓と拍子木でハ、ハ、ハ、ソラオイオイで終わる。」の順である。

### 5 保存会や地域との連携の具体策

手打小学校1～4年生には、伝承者が講師として来校し、毎年1～2時間程度指導していただいている。その後は、体育やふるさと・コミュニケーション科の授業で練習を行っている。

### 6 文化財伝承・活用の取組で工夫した点

学校が伝承活動に協力できるようにするために、また連携しながら伝承していけるようにするために、毎年地区との合同運動会で披露するようにしている。さらに、伝承者による指導時間が限られているので、4年生の児童がリーダーとなって、他の1～3年生の見本となって教えるようにした。

## 7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



伝承者による指導



小・中・校区合同秋季大運動会での発表

## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想や意見

### 【1年生児童】

ぴたっととまるところがむずかしかったです。

### 【3年生児童】

中野さんに教えてもらったコツをしっかりと練習してすごく手おどりが上手になりました。本番でも、すごい手おどりができるように練習をがんばりたいです。

### 【4年生児童】

中野さんに、こしをひくく、土をかきあげるようにとアドバイスをもらったので、とてもうまくできるようになりました。

### 【教職員】

運動会で手踊りを踊るようになった経緯を聞くことができた。今後の後継者も含めて、学校でもこの踊りを伝えていきたい。また、いつか、今の子どもたちが手打小に指導者として帰ってくることを楽しみにしている。

### 【保護者】

声も出ていて、とてもかっこよかったです。地域のおどりが親から子へ、子から孫へと受け継がれていくため、今後も無くさず続けていってほしいです。

### 【保存会】

昔は、子岳のある方が運動会でも踊ってほしいという思いで指導に来られていた。それを受け継いで、今子どもたちに指導している。1時間では、なかなか細かいところまでは教え切ることができないが、少しでも形になればと思う。